



日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

第2次環境基本計画が策定されました

第2次環境基本計画策定の経緯

平成11年に109名の市民との協働により策定された環境基本計画は、平成22年度(2010年度)に計画の最終年度を迎えるため、新たに平成32年度(2020年度)までの10年間を計画期間とする第2次環境基本計画を策定することになりました。公募市民53名(うち事業者は10社)と市職員14名からなる策定ワーキングチームを設置し、平成21年11月から市民参画による策定会議をスタート(完成までに13回開催)。これまでの大規模開発等による環境影響や公害問題のほか、大量消費による経済活動で発生した二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化という新たな問題も盛り込んだ計画となりました。先人から継承した日野市の豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐために、一人ひとりの継続した環境への配慮行動を実践してほしいとの強い思いを込めた第2次環境基本計画は、中間発表会の開催、パブリックコメントの実施、環境審議会での審議、日野市議会の議決を経て平成23年3月に完成しました。

第2次環境基本計画の施策体系(分野)

里山や農、用水、湧水など日野市の特徴を活かし、本計画の施策体系の柱を次の5分野としました。

「目標1 (みどり分野)みどりの原風景をつなぐまち」、「目標2 (水分野)水文化を伝えるまち」

「目標3 (ごみ分野)ごみゼロのまち」、「目標4(地球温暖化分野)低炭素社会

を築くまち」「目標5 (生活環境分野)心やすらぐ住みよいまち」

「環境配慮指針」と「環境活動マップ」を作成しました

第2次計画にそって日常生活や事業活動など、普段の行動の中でできる環境配慮行動を具体的に示した「環境配慮指針」と、環境配慮の取組みや豊かな自然を紹介した「環境活動マップ」を作成しました。* 環境情報センターで配布しています。



環境活動マップ

★環境保全に取り組んでいる団体紹介★

2 日野市消費者運動連絡会 (日野消連)

[活動の目的]

- 生活の中で不安や疑問に思うことを市民の立場で調査・学習し、企業や行政と話し合いを重ね、市民の意向を伝えて実現を要望していく。
- 市民一人ひとりが広く・永い視点に立ち自分たちの生活を見直し変えていくことで、社会をよりよい方向へ転換できると信じ、イベントや印刷物他を通して多くの市民に情報を発信していく。

[活動内容]

よりよい環境をこどもたちへ ~問い直そう私たちの暮らし~

- 自然との共生を求めてなるべく環境に負荷を与えない生活を実践し、水・食・ごみの視点から具体的に CO2 削減を提唱。CO2 削減の担い手である「緑地の保全」を願い、「ひの緑のトラスト」のPRと募金活動に取り組んでいる。(設立 1982年)

連絡先 ☎ 581-4112 日野市企画部地域協働課

★環境情報センターの取組み紹介★

■ ひの緑のトラストの取組み

市内の百草山地区では、貴重な雑木林が市民と行政との協働により残されており、市民による雑木林の保全活動が活発に行われています。

平成21年12月に、この貴重な里山の保全を市民自らの力で進めるため、「ひの緑のトラスト」が設立され、多くの方から募金が寄せられています。

緑のトラストは、第2次日野市環境基本計画の重点施策に位置付けられ、倉沢里山を愛する会、真堂が谷戸蛸の会、南丘雑木林を愛する会、東豊田緑湧会、日野市消費者運動連絡会、日野の自然を守る会、まちづくりフォーラム・ひの、百草山の自然と文化財を愛する会他の、緑の保全を願い活動している団体により構成されています。

環境情報センターは、「ひの緑のトラスト」の事務局として募金事務などを担当しています。

市内の緑地保全の募金について、ご協力をお願いいたします。

詳細は環境情報センターにお問い合わせください。



百草地区の緑地

2011夏のエコキング報告

■ 小学生がエコキング(一日環境家計簿)にチャレンジ

エコキングとは、市内の小学校の全児童に、1日に限定し、くらしの中での省エネ行動ができたかを記録する「1日環境家計簿」にチャレンジし、地球温暖化の要因である二酸化炭素の家庭での排出量を算出するものです。この事業は平成18年から行われており、今年で6年目になります。

今年は3月に東日本大震災が発生し、電力事情が逼迫する中で夏の電力不足対策の一環として、小学生のいる家庭で節電に取り組むきっかけとなることを目指し、夏至の6月22日を基準日に取り組みました。

調査項目としては、1年生から3年生は次の5項目でした。①冷房をなるべく使わなかった。(部屋の温度28度を心がけよう) ②ご飯やおかずを残さず食べた ③テレビを見る時間をいつもより30分少なくした。④いつもより30分早く寝た。⑤家族が一つの部屋ですごすようにした。

4年生から6年生は、①～⑤の項目の他に次の5項目を加えました。⑥テレビゲーム、コンピュータゲームをしなかった。⑦シャワーを無駄にしなかった。⑧お風呂には、家族の人と続けて入るようにした。⑨ペットボトルの飲み物をなるべく飲まないようにした。⑩自分で工夫してやったことを書いてみよう。これらの項目ができたなら○をつけ、○の数がいくつかを記録してもらいました。

この項目設定と集計は、日野市環境基本計画推進会議 CO₂グループの市民と、企業の皆さん、日野市環境保全課と環境情報センターが行いました。

この取組みは任意であり、学校で家庭に調査用紙を配布し回収したものを、CO₂グループ等が集計しましたが、市内の児童約9,500人のうち約65%の6,225人から回答をいただきました。

■ エコキングを集計して(環境基本計画CO₂グループ)

5年位前からエコキングの集計を行ってきて、少しずつですが回答して戻ってくる数が増え、徐々に浸透している気がします。今回は、東日本大震災による原発事故等の影響で、電力不足が表面化し、節電の必要性が今までになく高まっています。このような状況の中で行われた今回のエコキングは、例年以上に意味あるものとなり、結果に期待するものがありました。私は一つの小学校の集計しかしていませんが、気の付いた何点かを挙げてみます。

①「いつもより30分早く寝た」という設問に対する実施率は、今までと同じように低く、相変わらずこの実施は難しいようです。②今回は「テレビをみる時間をいつもより30分少なくした」との設問になり、従来の1時間少なくしたより短くしたら、実施率が向上しました。30分と1時間との差はやはり大きいようです。③「テレビゲーム、コンピューターをしなかった」という設問に対する実施率は、はっきり向上していて、意識が上がったことを感じました。その他、自分で工夫したことを自由に書いてもらう設問がありますが、目立って多かったのが、“電気をこまめに消す或いは必要

なところ以外の電気を消す”で、電気の無駄使いをなくそうという気持ちが表れていました。この気持ちで一層節電してもらえればと思います。(彦谷 有三)



＊ ＊ 行事・イベントのお知らせ ＊ ＊

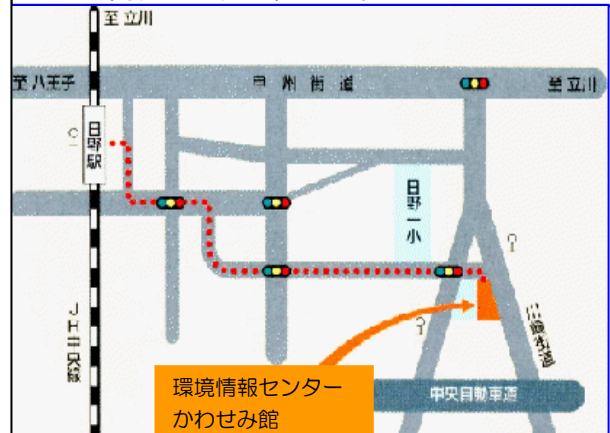
■ みみネットフォーラム「東日本大震災を考える」

- ・日時：9月3日(土) 午後1時30分～4時
- ・場所：福祉支援センター2階 第一会議室
- ・講師：被災地の報告 小笠俊樹氏・笹木延吉氏
日野市の防災計画 佐々木正道氏
- ・内容：ボランティア活動に携わった方の報告

■ みんなの環境セミナー「里山作り」

- ・日時：9月17日(土) 午前10時～正午
- ・場所：市役所505会議室
- ・講師：明治大学教授 倉本 宣氏
- ・内容：里山作りの実践作業報告

以上問合せは、かわせみ館まで



発行：日野市環境情報センター

☎ 042-581-1164 (FAX 兼)

Eメール kankyo@m2.hinocatv.ne.jp

〒191-0011 日野市日野本町1-6-3